

災害対応特殊救急自動車積載
高度救命処置用資機材
仕様書

枚方東消防署 北山出張所
寝屋川消防署 神田出張所

北山救急 1、神田救急 1

令和 8 年度

枚方寝屋川消防組合

第1章 総則

1 仕様書の目的

この仕様書は、枚方寝屋川消防組合（以下「組合」という。）が購入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）用の高度救命処置用資機材（以下「資機材」という。）について必要事項を定め、取り付けおよび設置工事一切に適用する。

2 医療用具としての承認と適性

組合が購入する資機材は、医療用具として十分な性能を有し、法的な許認可若しくは承認を得たものであること。また、救急車に装備並びに積載し、緊急走行を行った状態において十分な耐久性を有するとともに、安全確実に活用できるものであること。

3 資機材の規格

- (1) 資機材は、すべて新規製品で十分な性能及び安定度を有し、耐久性に優れたものであるとともに、関係機関が行う認定、検定及び検査を必要とするものについては、それに合格し承認を得たものであること。
- (2) 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（令和6年3月27日消防第82号）「災害対応特殊救急自動車の規格」・「高度救命処置用資機材」の規格に適合すること。

4 資機材の取り付け

- (1) 組合の指示のもとに救急車に取り付ける資機材は、取り付けおよび設置に必要な金具等を組合の指示に基づき納入送付すること。また、取り付けおよび設置にかかる技術的な情報を提供すること。それに伴う経費については納入契約者が負担すること。（必要に応じて技術員の派遣も考慮すること。車両間の移設に伴う工事についても同様とする。）
- (2) 取り付けおよび設置後に発生する調整等は、納入契約者が実施すること。それに伴う調整費については納入契約者が負担すること。また、組合の指示により、資機材の各操作および取り扱いについて専門係員を派遣し、指導を行うものとする。

5 契約

- (1) 契約にあたっては、本仕様書の不明な点を事前に組合へ質疑し、十分熟知のうえ了承して締結するものとし、契約以後の質疑等については組合の解釈又は判断に従うものとする。

- (2) 納入にあたっては、受注者立ち会いのもと、医療機器または医療用具の販売に係る所定の許可を得た者を立ち会わせ、関係法令に基づく手続き及び取り扱いに関する十分な説明を行うものとする。
- (3) 本仕様書で指定する救急資機材について、本仕様書が提示された時期の前後にかかわらず、その救急資機材に有用な変更又は改良が加えられ、若しくは新機種及び後継機種が製造元から発表された場合には、その内容を当組合に遅滞無く連絡し、担当者の指示どおりに納入すること。

6 納入期限

令和9年3月31日までとする。

第2章 納入する資機材

納入する資機材の規格及び数量は、(別紙1)仕様及び数量一覧のとおりとする。

第3章 補則

- 1 本仕様書について、疑義又は変更せざるをえない事項が生じた場合は、合に速やかに連絡するとともに、綿密に協議し、組合の指示を受けるものとする。
- 2 資機材の保証期間は、1年とすること。ただし、製造元が公表する期間が1年以上の場合は、製造元が公表する期間とすることとし、保証書を添付すること。
- 3 保証期間を問わず、設計、製作及び材料不良等に起因する不具合箇所が発生した場合は、受注者の責任において早急かつ無償にて修理又は改善を行うものとする。
- 4 設計、製作、材料、部品等について、特許その他権利上の問題が起こった時は、製作者がその責任を負うこと。
- 5 受注者は、救急車の艤装段階において、車体に固定する必要がある物品を救急車納入業者へ事前に支給すること。なお、事前支給に関する一切の費用は受注者が負担するものとする。
- 6 受注者は、救急車に搭載する資機材について、取り扱い上の支障がないよ

う、架台の取り付け等について、救急車納入業者と十分に打合わせを行うこと。（救急車の仕様上で架台等の設定が無い場合は、救急車納入業者に製作させ、費用は受注者が負担すること。）

7 受注者は、当組合の職員に対し、資機材の取り扱い説明を充分に実施すること。なお、説明員の派遣に関する一切の諸経費は受注者が負担するものとする。

8 受注者は、使用期限が定められている物品については、製造後 1 か月以内の物品を納入すること。